



防衛医科大学校

National Defense Medical College



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。
2024年9月



防衛省
MINISTRY OF
DEFENSE

防衛医科大学校

National Defense Medical College





「医師である幹部自衛官」 「保健師・看護師である幹部自衛官」 「保健師・看護師である技官」を育成する

防衛医科大学校は、人格、識見ともにすぐれ、何より「国民の生命を守り、平和に貢献する」という強い意志を基調として、いかなる状況においても、あらゆる困難を乗り越えることができる医師、保健師・看護師である自衛隊の医療従事者を育成する唯一無二の学校です。

本校は、教育・研究・診療の各分野において、任務を遂行する自衛隊員の生命・身体を救うために必要な高い能力を保持し、学生等に自衛隊の医学・医療に関する高度な専門的知識・技能を修得させます。

(学生のサービスの宣誓)

私は、防衛医科大学校学生たるの名誉と責任を自覚し、日本国憲法、法令及び校則を遵守し、常に徳操を養い、人格を尊重し、心身を鍛え、知識をかん養し、政治的活動に関与せず、全力を尽して学業に励むことを誓います。

(自衛隊法施行規則第四十条より)



防衛医科大学校長 博士(医学) 福島 功二

目次

04	キャンパス	全景
06	沿革・組織	設立の目的 沿革 防衛省組織図 防衛医科大学校組織図
10	医学科	教育・訓練方針 医学教育 訓練課程
14	看護学科	教育・訓練方針 看護学教育 訓練課程
18	学生生活	学生の身分 団体生活 学生の日課 年間行事 学生センター 学友会活動
22	卒業後の進路	医学科卒業後の進路 看護学科卒業後の進路 医学研究科
24	図書館	概要
24	防衛医学研究センター	概要
25	防衛医科大学校病院	概要 診療案内 診療科 中央診療施設として置かれる部及び室
26	交通案内 所在地	



ネパール国際緊急援助活動(2015年) (統合幕僚監部HPより)

令和元年(2019年)台風15号に伴う千葉県及び神奈川県に停電に係る災害派遣における患者輸送の様子 (統合幕僚監部HPより)

令和6年能登半島地震 巡回診療(珠洲市) (統合幕僚監部HPより)



防衛医科大学校病院で勤務する看護師

校章の由来
防衛医科大学校の校章は、鳩と蛇杖と桜花を桜の若葉で支えた形を表しています。桜花は日本の国花であり、鳩は平和を意味しており、蛇杖は医学のシンボルとして世界的に承認されているものです。これらを国を守る若人を象徴する桜の若葉で支えています。
すなわち、この校章は日本の独立と平和を守り、医学の研鑽に励むことを意味しています。

キャンパス

緑に囲まれた広大な敷地、最新設備が揃う充実した環境で学ぶ

全景

防衛医科大学校は、埼玉県所沢市の中央部、西武新宿線「航空公園駅」の近傍に位置しています。緑に囲まれた約29万m²の敷地には、学校本部、1～9号館(校舎、研究棟)、臨床講堂、医学科学生舎、看護学科学生舎、図書館、体育館、研究センター棟、動物実験棟、研修医官棟、病院施設(外来診療棟、東棟・西棟等)、学生センター、陸上競技場、野球場、武道館等の施設があります。

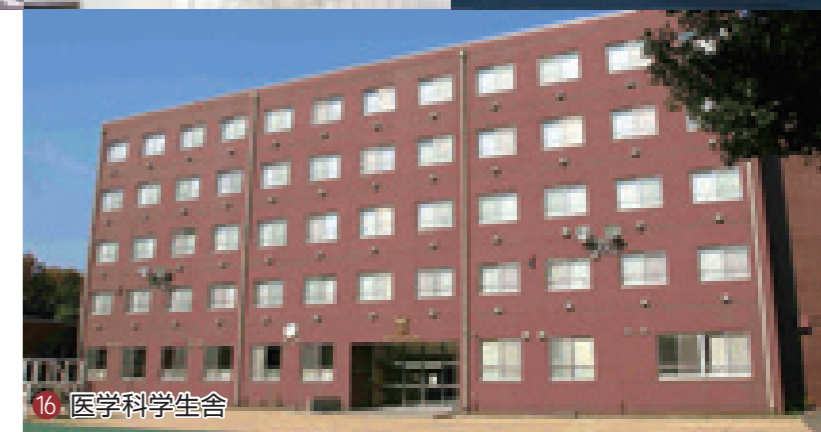


1 学校本部



3 2号館(専門課程校舎)

11 図書館



16 医学科学生舎



16 医学科学生舎(食堂)

18 看護学科学生舎



学内施設

- 1 学校本部
- 2 1号館(進学課程校舎)
- 3 2号館(専門課程校舎)
- 4 3号館(教官棟)
- 5 4号館(臨床研究棟)
- 6 5号館(共同研究棟)
- 7 6号館(基礎研究棟)
- 8 7号館(看護学科校舎)
- 9 8号館(看護学科校舎)
- 10 9号館(看護学科校舎)
- 11 図書館
- 12 動物実験棟
- 13 第2動物実験棟
- 14 防衛医学研究センター
- 15 RI実験棟
- 16 医学科学生舎
- 17 看護学科(技官候補看護学生)学生寮
- 18 看護学科(自衛官候補看護学生)学生舎
- 19 研修医官棟
- 20 臨床講堂
- 21 東棟
- 22 西棟
- 23 手術棟
- 24 物療棟
- 25 放射線棟
- 26 中央検査棟
- 27 外来診療棟
- 28 外来玄関棟
- 29 救急診療棟
- 30 MRI棟
- 31 体育館
- 32 野球場
- 33 陸上競技場
- 34 武道館
- 35 テニスコート
- 36 学生センター
- 37 国家公務員宿舎
- 38 保育施設



20 東棟 及び 27 外来玄関棟

21 西棟



30 体育館

33 武道館

沿革・組織

防衛省に設置された組織であり、
医師である幹部自衛官、保健師・看護師で
ある幹部自衛官及び技官を養成する



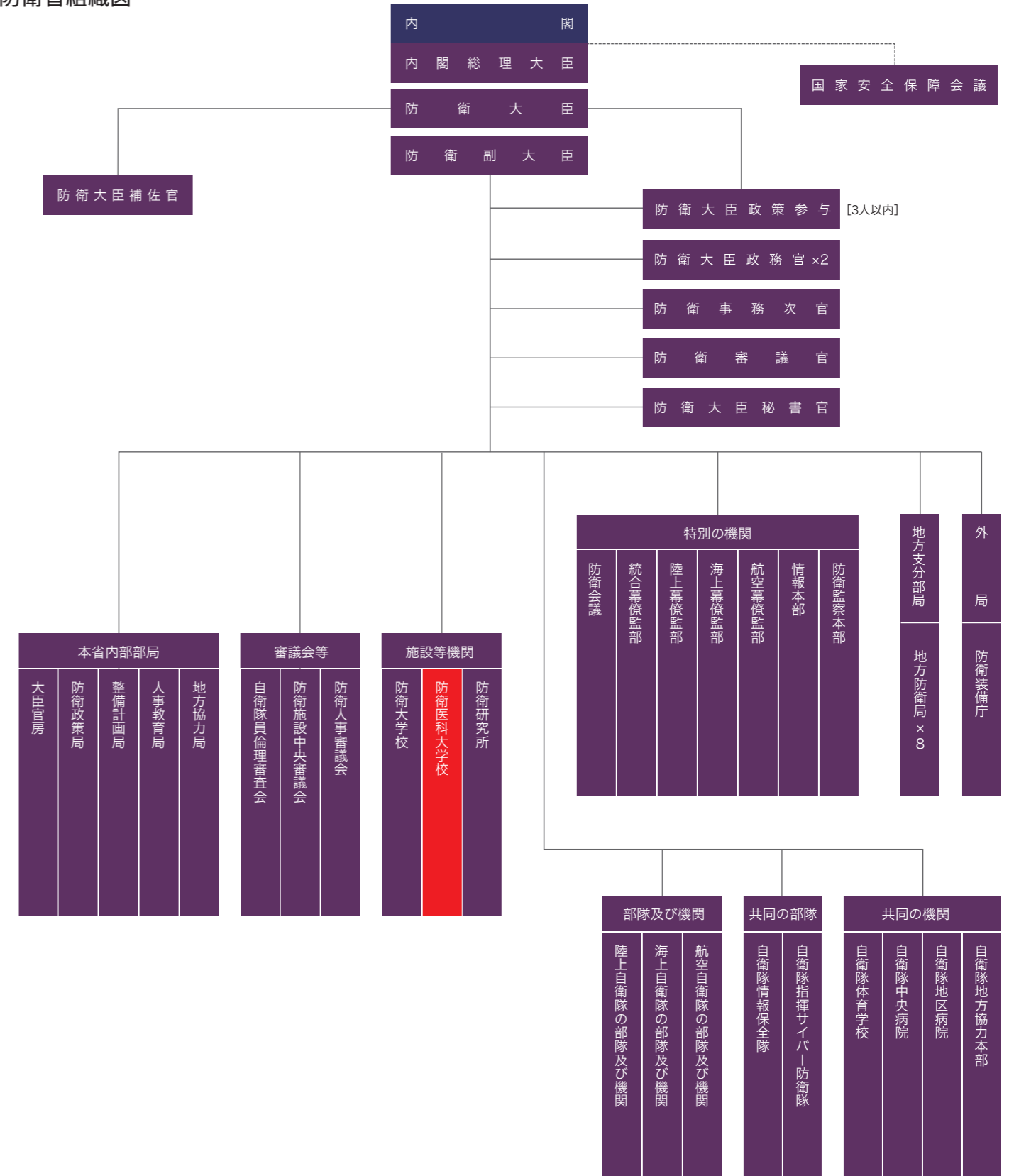
設立の目的

医師である幹部自衛官、保健師・看護師である幹部自衛官及び技官となるべき者を養成し、かつ、それらの者に対し自衛隊の任務遂行に必要な医学及び看護学に関する高度の理論及び応用についての知識と、これらに関する研究能力を修得させるほか、治療にかかわる臨床研修及び研究を行うことを目的として設立されています。

沿革

1973年11月	防衛庁(当時)の施設等機関として防衛医科大学校を開設
1974年4月	航空自衛隊入間基地内の仮校舎で医学科学生の教育を開始
1975年8月	所沢の本校舎に移転
1975年9月	高等看護学院を開設し看護学生の教育を開始
1977年12月	病院の開設
1980年3月	第1期医学科学生卒業
1985年4月	初の女子学生入校(第12期学生)
1987年6月	医学研究科を開設
1987年10月	医学研究科学生の教育を開始
1991年9月	第1期医学研究科学生修了
1992年3月	医学科卒業生(第13期学生)に学位授与機構から学位授与開始 医学研究科修了生(第1期学生)に学位授与機構から学位授与開始
1992年9月	救命救急センター開設 第三次救急医療機関に指定(埼玉県指定)
1996年10月	防衛医学研究センター開設
1997年2月	特定機能病院の承認(厚生省承認)
2005年4月	防衛医学講座開設
2007年8月	災害拠点病院に指定(埼玉県指定)
2010年4月	新病棟(西棟)の運用開始
2012年4月	がん診療指定病院の指定(埼玉県指定)
2014年4月	看護学科を開設
2016年4月	高等看護学院を廃止
2018年3月	第1期看護学科学生卒業
2019年3月	第一種感染症指定医療機関
2022年2月	新陸上競技場 落成
2023年7月	医学教育研修センター開設
2023年11月	新体育館 落成 創立50周年記念行事を開催
2024年4月	外傷・熱傷・事態対処医療センター新設 バイオ情報管理室新設

防衛省組織図



※臨時または特例で置くものを除く

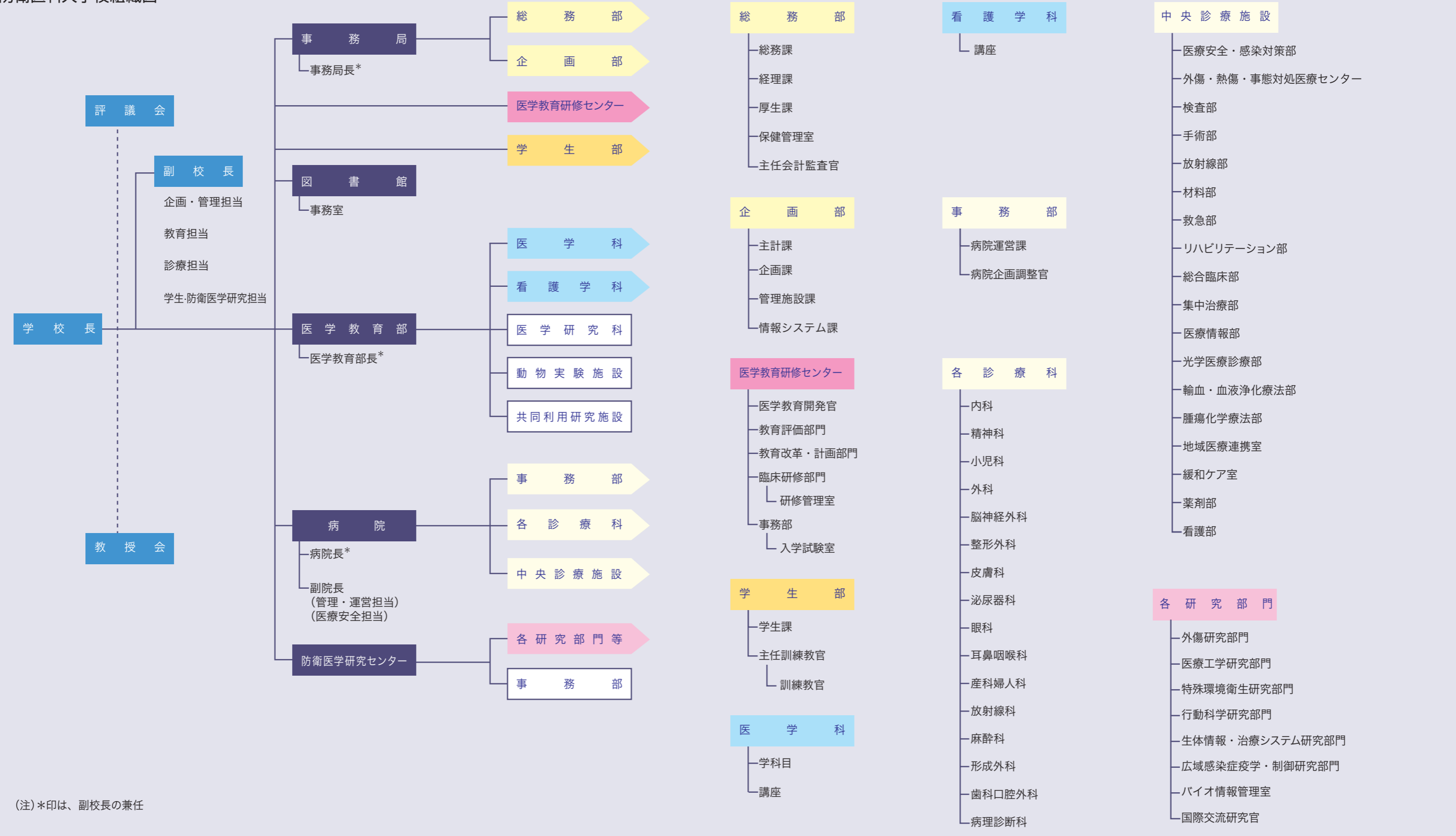


沿革・組織

防衛省に設置された組織であり、
医師である幹部自衛官、保健師・看護師で
ある幹部自衛官及び技官を養成する



防衛医科大学校組織図



(注)*印は、副校長の兼任

医 学 科

優れた人格、識見を持ち、
有能な総合臨床医となる基礎を培う

入校者受入れ方針(アドミッション・ポリシー)

防衛医科大学校(医学教育部医学科)は、医師である幹部自衛官となるべき者に対して、各種事態への対処や国内外における多様な任務に対応し得るための教育訓練をつかさどる防衛省の教育機関として、以下のような人材を求めます。

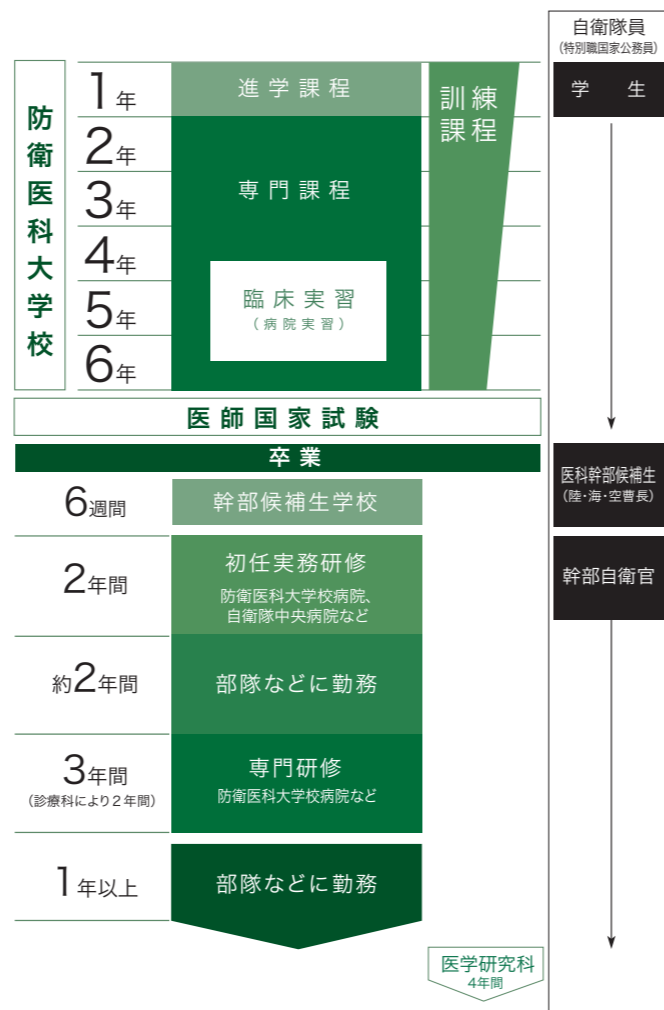
- 1 本校の設立目的を十分に理解し、我が国の平和と安全、国民の生命と幸せな暮らしを守り、自衛隊員の健康を維持し、生命を救う自衛隊医官としての志をもち、高い倫理観と健康な身体を有する者
- 2 規律ある団体生活を通してコミュニケーション能力と協調性を高め、将来、自衛隊の医療や防衛医学研究の分野において指導的役割を担うために、他者を尊重しつつ自らの行動を律することができる者
- 3 幅広い国際的な視野をもち、自衛隊が国内外において要請される多様な活動を遂行するために必要な教養、医学・医療に関する専門的知識・技能を主体的、積極的に修得しようとする者

教育・訓練方針

本校の医学科は、医師である幹部自衛官となる者の教育訓練を行います。進学・専門課程及び訓練課程を通じて6年間の一貫した教育を行い、自衛隊医官の特性を基調とした人格、識見共に優れた有能な総合臨床医の養成を目標としています。

修業期間中には、教育訓練及び規律ある団体生活等のあらゆる機会を通じて、医の倫理に徹し、生命の尊厳を深く認識します。また、自主的精神、規律ある態度及び責任感をもって行動する気風並びに強健な体力と旺盛な気力を養い、医師である幹部自衛官としての職責を尽くすことのできる性格を育成します。

学生の定員は1学年につき80名を基準としています。



医学教育

本校は、学校教育法に基づき医学教育を行う大学の設置基準に準拠して教育を実施しており、修業時には医師国家試験の受験資格が付与されます。進学課程においては、33単位以上を概ね1年次に修得することにしており、その内容は、一般教育(人文、社会、総合)、外国語、保健体育及び基礎教育の各科目に区分されています。専門課程においては、173単位の医学に関する専門教育を概ね1年次の後半から6年次にわたり修得することとしています。

進学課程の授業科目及び取得単位数

授業科目		開設単位数	卒業に必要な修得単位数	
一般教育科目	行動科学系	倫理学	1	必修
		心理学	1	
		哲学	1	
		社会学	1	
		法学	1	
	コミュニケーション技法	1	4単位	
	人文系	史学		1
		国語・国文学		2
	社会学	政治学		1
		経済学		1
総合	人文地理	1	必修	
	教養講座	1		
	数理論理学	1		
外国語科目	英語	英語	5	必修
		英会話	2	
		独語	2	
		仏語	2	
		中国語	2	
保健体育科目	体育倫理・実技	3	必修	
基礎教育科目	数学	数学	1	必修
		物理学	3	
		化学	3	
		生物学	3	
合計		42	33単位	

医学課程 令和6年度

学科目(10学科目)

心理学、倫理学、国語・国文学、社会学、物理学、化学、生物学、数学、英語、保健体育



医 学 科

優れた人格、識見を持ち、
有能な総合臨床医となる基礎を培う

専門課程の授業科目及び修得単位数

授業科目	開設単位数	卒業に必要な修得単位数
社会医学系	6	必修
形態医学系	12	
血液・造血器・リンパ系	3	
神経系	6	
感覚器系	5	
運動器系	3	
循環器系	4	
呼吸器系	3	
消化器系	7	
腎・尿路系	3	
精神系	2	
生殖機能系	3	
内分泌・代謝・成長発育系	3	
感染症系	5	
免疫・アレルギー・膠原病系	4	
救急・総合医学系	9	
機能医学系	17	
防衛医学系	4	
基本的診療技能実習	2	
内科系臨床実習	38	
外科系臨床実習	34	

■講座(27講座)

再生発生物学、解剖学、生理学、生化学、薬理学、病態病理学、免疫・微生物学、衛生学公衆衛生学、国際感染症学、法医学、医用工学、分子生体制御学、防衛医学、内科学、精神科学、小児科学、外科学、脳神経外科学、整形外科学、皮膚科学、泌尿器科学、眼科学、耳鼻咽喉科学、産科婦人科学、放射線医学、麻酔学、臨床検査医学

訓練課程

訓練課程では、幹部自衛官として必要な基礎的資質を涵養し技能を育成することを目的としています。訓育、徒歩教練、体育、水泳、スキー及び部隊実習等を本校並びに陸上、海上及び航空自衛隊の各部隊等において春、夏、冬に分けて行います。

訓育

訓話、解説、ガイダンス等により、社会人としてはもとより、将来医師である幹部自衛官としての理解・自覚を深めさせ、資質豊かな人間を育成します。

徒歩教練

自衛隊で必要な基礎的各種動作を修得します。

体育一般

各種体育の基礎技術を修得します。

水泳

各種泳法の基本的事項を修得します。

スキー

ブルークボーゲンによる制動、停止及び回転までの基礎技術を修得します。

教育法

基礎理論の概要を修得し、実習を通じ教育指導能力の向上を図ります。

部隊実習

自衛隊の訓練及び業務の概要を理解するため、部隊等において実習を行います。



訓練課程の授業科目及び時間数

訓練科目	学年						計
	1	2	3	4	5	6	
訓練	38	21	34	5	4	16	118
基本教練	徒歩教練	33	4	8	0	0	45
	体育一般	15	8	8	4	4	47
	水泳	24	0	32	0	0	56
	スキー	0	31	0	0	0	31
	教育法	0	0	16	0	0	16
部隊実習	戦技基礎	4	52	0	0	0	56
	要員基礎	8	2	6	0	0	16
	部隊実習	12	20	50	24	0	16
合計(時間)	134	138	154	33	3	40	507

訓練課程 令和6年度

看護学科

優れた教養・知識・技術を持ち、
有能な看護専門職者となる基礎を培う

教育・訓練方針

看護学科は、保健師・看護師である幹部自衛官を養成する自衛官候補課程（以下、「自衛官コース」）及び保健師・看護師である技官となる者を養成する技官候補課程（以下、「技官コース」）の2コースがあり、それぞれの教育訓練を行います。

教育訓練及び規律ある団体生活等のあらゆる機会を通じて、看護の倫理に徹し、生命の尊厳を深く認識させるとともに、自主的精神、規律ある態度及び責任感を持って行動する気風並びに旺盛な気力を養い、保健師・看護師である幹部自衛官及び技官としての職責を尽くし得る性格を育成します。

看護学科では、一般教養科目を充実させるとともに、「防衛看護学」などの特色ある教育を行います。

学生の定員は、1学年につき自衛官コース75名、技官コース45名を基準としています。



学年	教育課程		
1年	基礎分野	専門基礎 分野	訓練課程（自衛官コースのみ）
2年			
3年	統合分野		
4年	保健師・看護師 国家試験		
卒業			
自衛官コース		技官コース	
陸・海・空 幹部候補生 学校入校 部隊等勤務 新人看護 職員研修		防衛医科大学校 病院勤務 新人看護 職員研修	



看護学科

優れた教養・知識・技術を持ち、
有能な看護専門職者となる基礎を培う

授業科目		卒業に必要な修得単位数
基礎分野	科学的思考の基盤	17単位以上
	人間と生活・社会の理解	
専門基礎分野	人体の構造と機能	24単位
	疾病の成り立ちと回復の促進	
	健康支援と社会保障制度	
専門分野	基礎看護学	64単位
	地域・在宅看護論	
	成人看護学	
	老年看護学	
	小児看護学	
	母性看護学	
	精神看護学	
	看護の統合と実践	
臨地実習		
公衆衛生看護学	16単位	
疫学	2単位	
保健統計学	2単位	
保険医療福祉行政論	4単位	
臨地実習	5単位	
防衛看護学分野	防衛看護学	自衛官コース：5単位 技官コース：1単位
合計		139単位

看護学課程 令和6年度

看護学教育

学校教育法に基づき看護学教育を行う学校の設置基準に準拠して教育を実施しており、修業時には保健師・看護師国家試験の受験資格が付与されます。基礎分野は17単位以上、専門基礎分野は24単位、専門分野は64単位、その他実習等で29単位、防衛看護分野は、自衛官コース5単位、技官コース1単位を4年間で修得することとしています。

■講座(8講座)

基礎看護学、成人看護学、老年看護学、小児看護学、母性看護学、精神看護学、地域看護学、防衛看護学

訓練課程(自衛官コース)

訓練課程では、幹部自衛官として必要な基礎的資質を涵養し技能を育成することを目的としています。訓育、徒歩教練、体育一般、スキー及び部隊実習等を本校並びに陸上、海上及び航空自衛隊の各部隊等において、春、夏、冬に分けて行います。

訓育

訓話、解説、ガイダンス等により、社会人としてはもとより、将来保健師・看護師である幹部自衛官としての理解・自覚を深めさせ、資質豊かな人間を育成します。

徒歩教練

自衛隊で必要な基礎的各種動作を修得します。

体育一般

各種体育の基礎技術を修得します。

スキー

ブルークボーゲンによる制動、停止及び回転までの基礎技術を修得します。

教育法

基礎理論の概要を修得し、実習を通じ教育指導能力の向上を図ります。

部隊実習

自衛隊の訓練及び業務の概要を理解するため、部隊等において実習を行います。



訓練課程の授業科目及び時間数

訓練科目	学年				計	
	1	2	3	4		
訓育	41	35	24	18	118	
基本教練	徒歩教練	34	4	8	0	46
	体育一般	40	4	4	4	52
	スキー	0	31	0	0	31
	教育法	0	0	16	0	16
部隊実習	戦技基礎	4	54	40	0	98
	要員基礎	8	2	48	0	58
	部隊実習	12	20	24	26	82
合計(時間)	139	150	164	48	501	

訓練課程 令和6年度



学生生活

団体生活を通じて多くの友と出会い、
自主自律の精神と幅広い人間性を養う

学生の身分

医学科及び看護学科(自衛官コース)学生の身分は、自衛隊員(特別職国家公務員)です。被服、食事等は、貸与又は支給され、在校中は、毎月所定の学生手当が支給されるほか年2回の期末手当が支給されます。また、入校の際の入学金及び授業料等は徴収しません。本人の医療費は、防衛省の病院等で受診した場合は国が負担します。学生は、防衛省共済組合の組合員となり、その給付が受けられるほか、各種の福利厚生制度があります。

看護学科(技官コース)学生の身分は、特別職国家公務員(非常勤職員)です。制服が貸与され、非常勤職員手当が支給されます。入校の際の入学金及び授業料等は徴収しません。希望者は有料で入寮することができます。

団体生活

医学科学生及び看護学科(自衛官コース)学生は、団体生活の体験を通じて人格を陶冶し、協調性を養うため、全員校内の学生舎で規則正しい生活を送っています。また、団体生活を円滑にするとともに自主自律の精神を養うため、学生隊を組織し、指導官の指導のもとに、学生長や週番学生などを中心に自主的に運営しています。

学生舎は、机、本棚、電気スタンド等日常生活に必要なものが備えられ、勉学に専念できるようになっています。また、毎日の食事は専門の栄養士によって栄養管理が行われ、そのメニューはバラエティに富み、勉学や学友会活動で疲れた一日の中で、心身がリフレッシュする楽しい食事となるよう工夫がこらされています。

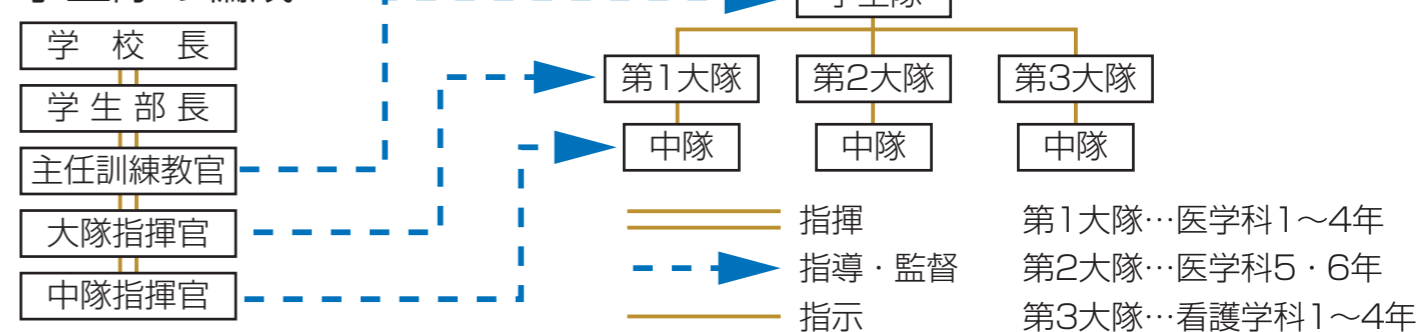
医学科学生の日課



- 06:30 起床
- 06:40~07:30 朝食
- 08:00 国旗掲揚
- 08:00~08:15 朝礼
- 08:30 授業開始
- 11:50~12:40 昼食
- 17:00 授業終了
- 17:15 国旗降下
- 17:30~18:30 夕食
- 17:00~20:40 入浴・学友会活動
- 21:00~24:00 自習
- 24:00 消灯

※5・6年生の日課時間は、一部異なっているところがあります。

学生隊の編成



看護学科学生の日課



- 自衛官コース
- 06:30 起床
 - 06:40~07:30 朝食
 - 08:00 国旗掲揚
 - 08:00~08:15 朝礼
 - 08:30 授業開始
 - 11:50~12:40 昼食
 - 17:00 授業終了
 - 17:15 国旗降下
 - 17:30~18:30 夕食
 - 17:00~20:40 入浴・学友会活動
 - 21:00~23:00 自習
 - 23:00 消灯

- 技官コース
- (07:00~07:50) 朝食
 - 08:30 授業開始
 - 11:50~12:40 昼食
 - 17:00 授業終了
 - (17:45~18:45) 夕食
 - (17:00~20:45) 入浴
 - (20:00~23:00) 自習時間
 - (24:00 居室) 消灯
- ※()は入寮者のみ



学生生活

団体生活を通じて多くの友と出会い、
自主自律の精神と幅広い人間性を養う

年間行事

■体育祭

体育祭は、毎年5月中旬に行われ、学生が中心となって企画・運営し、チーム対抗の競技を通じて人間関係も深まります。一番盛り上がる競技は騎馬戦で、毎回白熱した闘いが繰り広げられます。

■並木祭(学校祭)

並木祭は、毎年10月に行われる防衛医科大学校の一大イベントです。学生による実行委員会が組織され、講演会やライブ、学生による演奏会、模擬店などに加え、医学研究セミナーや看護研究展示など日頃の学習の成果を発表する場でもあります。

学生センター

学生センター(愛称「並木会館」)は、職員・学生の憩いと福利厚生の場として、また学生の自主的活動及び学友会活動の場として広く利用されています。

1階には、コンビニエンスストア、食堂、喫茶室、クリーニングが設置され、また2階には学友会(文化系)活動の部室、娯楽室、談話室、3階には大小会議室等が整備されています。

学友会活動

心身を鍛錬し、幅広い人間性を養うとともに、学生相互の親交を図るため、運動系と文化系の学友会があります。学友会には部と同好会の二つの組織があり、いずれも学生たちによって自主的に運営されています。夏休みに合宿を行ったり、体育大会で好成績を残すなど、積極的に活動しています。グラウンドや野球場そしてテニスコートには夜間照明施設があり、夜間に汗を流す学生の姿も多く見られます。屋内プールや武道場などの設備も整っています。

なお、基本的に学友会への加入は学生(看護学科(技官コース)学生は除く)の義務となっています。

■運動系

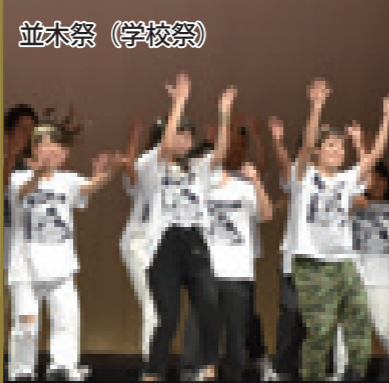
空手道、剣道、柔道、硬式庭球、ハンドボール、サッカー、バスケットボール、バドミントン、バレーボール、ラグビー、準硬式野球、水泳、躰道、合気道、弓道、スキー、陸上競技、レスリング、自転車競技、チアダンス、山岳同好会、ゴルフ同好会、筋トレ・ボディメイク同好会 など

■文化系

医用工学研究(ME)、演劇、音楽、合唱、茶道、写真、書道、吹奏楽、弦楽アンサンブル、美術、分子医学研究(MM)、国際医学生連盟防衛医科大学校支部(NAMIA)、華道部、ディベート同好会、ダンス同好会、ESS同好会、箏曲同好会 など



4月	医学科・看護学科学生入校式 医学科・看護学科(自衛官コース)学生春季定期訓練
5月	体育祭
7月	医学科・看護学科(自衛官コース)学生夏季定期訓練
10月	医学研究科学生修了・入校式 並木祭(学校祭) 慰霊祭
11月	創立記念行事
1月	医学科・看護学科(自衛官コース)学生冬季定期訓練
3月	医学科・看護学科学生卒業式



卒業後の進路

任務の多様化・国際化、医療技術の高度化・複雑化に対応し得る専門職者

医学科卒業後の進路

卒業後、直ちに医科幹部候補生(曹長)となつて、約6週間、各自衛隊の幹部候補生学校において、幹部自衛官として必要な教育訓練を受けます。医師国家試験に合格した者は、幹部候補生学校卒業後に幹部自衛官(2尉)となります。

初任実務研修・専門研修

総合臨床医として必要な診療各科にわたる基本的知識及び技能を修得するため、防衛医科大学病院及び自衛隊中央病院において初任実務研修(医師法に定める2年間の臨床研修)を行います。その後、約2年間部隊等において勤務することとなりますが、この間に、初級幹部自衛官としての教育が行われます。

この後、医学の専門分野に関する知識及び技能を錬磨し、医師としての資質の向上を図り、新専門医制度で各診療領域における専門医の資格を取得すべく、防衛医科大学校病院、自衛隊中央病院、連携施設等において、2~3年間専門研修が行われます。

自衛隊を退職する場合

■医学科

やむを得ない理由を除き、卒業後勤務年限が9年に満たないで自衛隊を離職する場合は、卒業までの経費を原則一括にて償還しなければなりません。

令和6年3月卒業時の最高額4,380万円

■看護学科

やむを得ない理由を除き、卒業後勤務年限が6年に満たないで自衛隊を離職する場合は、卒業までの経費を原則一括にて償還しなければなりません。

令和6年3月卒業時の最高額931万円(自衛官コース)
930万円(技官コース)

看護学科卒業後の進路

■自衛官コース

卒業後、直ちに幹部候補生(曹長)となつて、各自衛隊の各幹部候補生学校において、幹部自衛官として必要な教育訓練を受けます。

幹部候補生学校卒業後は、保健師・看護師である幹部自衛官(3尉)となり全国の自衛隊病院や衛生科部隊等で勤務します。配属後の自衛隊病院や衛生科部隊等では、新人看護職員研修が行われます。

■技官コース

卒業後、保健師・看護師である技官として防衛医科大学校病院に勤務します。同病院では、新人看護職員研修が行われます。



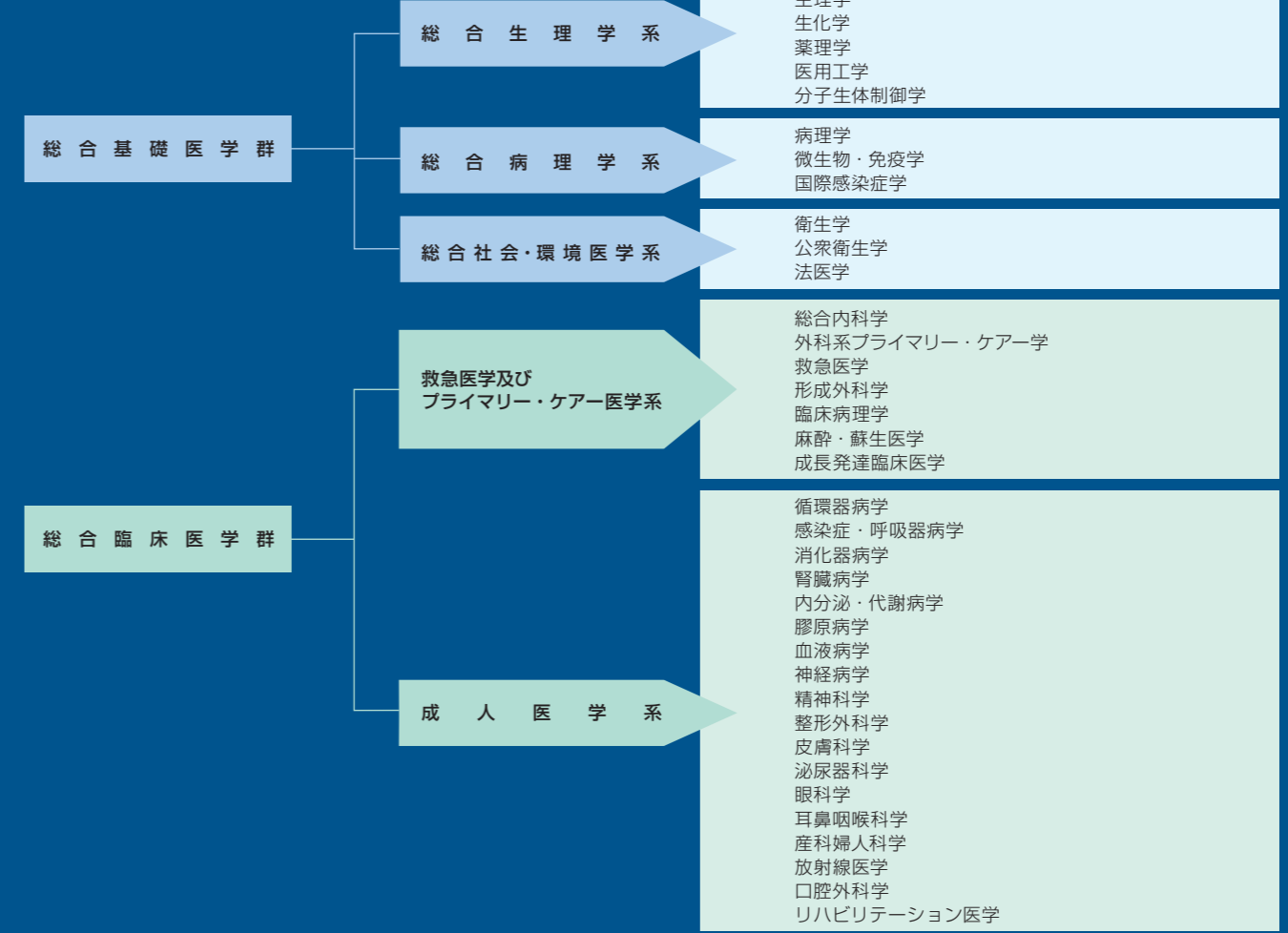
医学研究科

本校を卒業した医官等に対して、学校教育法に基づく大学院医学研究科(博士課程)に相当する医学研究科(医学研究課程)が設置され、修業年限4年の教育が行われています。急速に進歩、発展する医学・医療の水準に対応するため、最新の医学を踏まえた高度の研究能力と指導的能力を修得させ、自衛隊の保健・医療水準の向上を図ることを目的としています。

なお、医学研究課程を修了し、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の行う審査に合格すれば、博士(医学)の学位が授与されます。

学生の定員は1学年につき30名を基準としています。

医学研究科の系列・専攻分野



図書館

医学情報発信センターとしての役割を担う図書館

概要

図書館は、医学図書を中心に約20万冊を所蔵しています。自動入退館システムを導入し、平日・土曜日(8:00~23:00)はもとより、日曜日・祝日(8:00~17:00)の利用も可能です。開架式書庫、閲覧室、視聴覚室、防衛医学コーナー、ブラウジングコーナー等が整備されています。閲覧室に設置された端末機では、当館所蔵の図書検索(OPAC)や、国内外の文献検索データベース(医中誌Web、Medline、JCR、Scopus、CINAHL等)へのアクセス及び国内外の医学雑誌を主とした電子ジャーナルを閲覧することができます。

科学的、実証的な根拠に基づく医療、看護、研究、教育に対応するため、上記データベースや医学雑誌の更なる充実を図り、また国立情報学研究所と連携し、他大学との相互貸借による文献複写サービス等を実施して、迅速・的確な情報提供を行っています。

防衛医学研究センター

防衛医学の最先端を探る総合研究機関

概要

防衛医学研究センターは、有事・災害時に発生する多数の傷病者を対象とした救命・救急医学を専門的、総合的に研究する機関として設立されました。

1996年10月に外傷、医療工学、異常環境の3研究部門が、また1997年10月には行動科学、情報システムの2研究部門が開設されました。その後、新興・再興感染症や感染症パンデミックの脅威に対応するため、2012年4月に感染症疫学対策研究官が新設されました。2016年4月には、更なる研究機能強化のため、情報システム研究部門を生体情報・治療システム研究部門に改組し、感染症疫学対策研究官を廃止して広域感染症疫学・制御研究部門を新設しました。現在は、6部門体制で研究を行っています。なお、2020年4月に異常環境衛生研究部門を特殊環境衛生研究部門に名称変更しました。

当センターでは、外傷メカニズムの解明、救命処置・治療等に関する基礎的・臨床的研究はもとより、バイオ素発、特殊環境医学、自衛隊活動に付随した健康管理・メンタルヘルス、診断・治療システム、感染症対策、CBRNE(各種テロ)災害対処等様々な研究を行っています。これからの研究は、陸・海・空自衛隊の現場におけるニーズを踏まえ、その成果を防衛省・自衛隊組織に体系的に還元することを目指しています。

防衛医科大学校病院

高度先進医療を提供する能力を有し、広く地域住民に開放された総合病院

概要

防衛医科大学校病院は、2010年4月から新病棟の運営を開始し、東棟及び西棟(新病棟)を有する病床数800床の特定機能病院です。その他、第三次救急医療機関、災害拠点病院、がん診療指定病院、第一種感染症指定医療機関、特定機能病院、DMAT指定病院の指定を受けています。

理念

高度で安全な医療を提供しつつ地域医療並びに自衛隊の医療・衛生活動に貢献し、優れた自衛隊医官・看護官等を育成します。

基本方針

1. 患者さんの視点に立った、安全で良質な医療を提供する
2. 地域医療機関と密に連携し、地域に貢献する
3. 高度で先進的な医療を提供する
4. 地域の中核病院として救急医療を実践する
5. 新興感染症に対して迅速に対応できる体制を整える
6. 災害対処能力の向上に努める
7. 自らの使命を自覚し、豊かな人間性と高い倫理観を備え、自衛隊の多様な任務にも対応しうる医官・看護官等を育成する

診療案内

受付時間：午前8時30分から午前11時
診療時間：午前8時30分から午後5時
休診日：土曜、日曜、休日(国民の祝日に関する法律に規定する休日)、創立記念日(11月27日)及び12月29日から翌年の1月3日
面会時間：午後3時から午後7時

診療科

内科、精神科、小児科、外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、産科婦人科、放射線科、麻酔科、形成外科、歯科口腔外科、病理診断科

中央診療施設

医療安全・感染対策部、外傷・熱傷・事態対処医療センター、検査部、手術部、放射線部、材料部、救急部、リハビリテーション部、総合臨床部、集中治療部、医療情報部、光学医療診療部、輸血・血液浄化療法部、腫瘍化学療法部、地域医療連携室、緩和ケア室、薬剤部、看護部



図書館1Fフロア



防衛医学研究センター外観



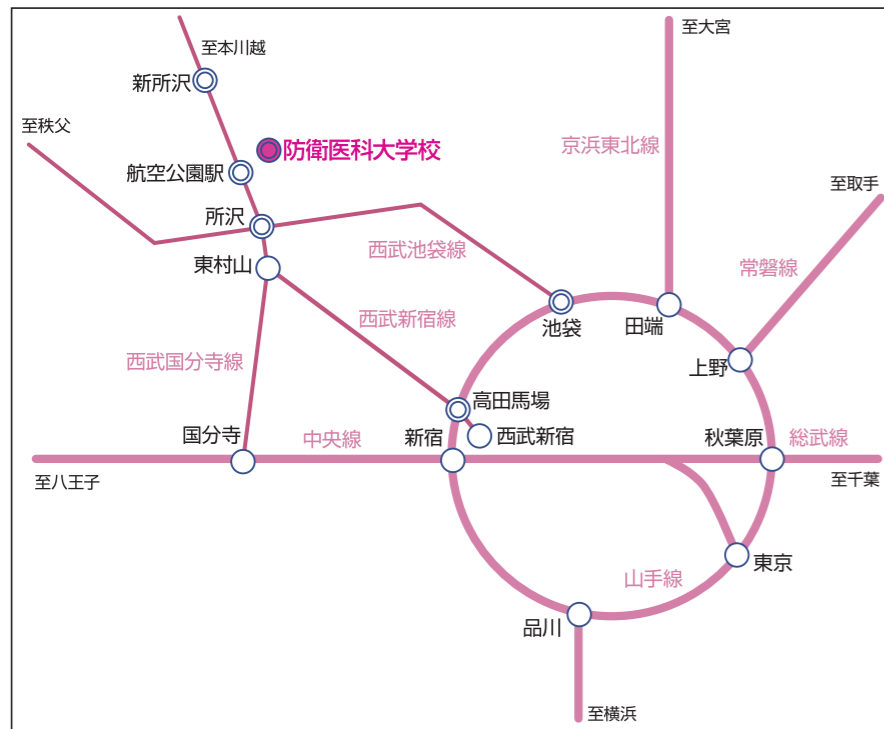
救急診療棟

ナースステーション

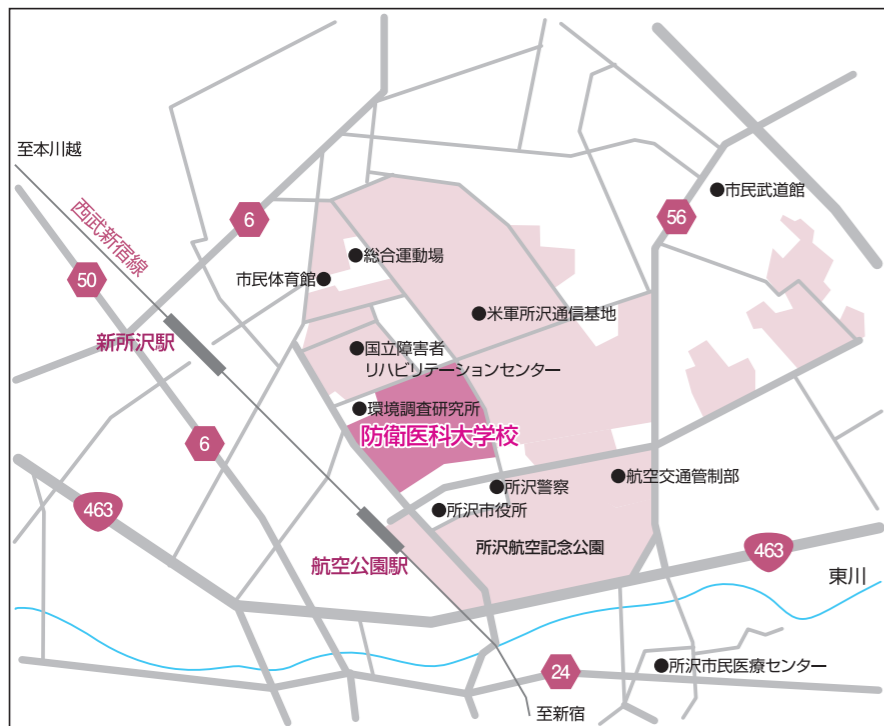
ICU

爆風型衝撃波発生装置

交通案内・所在地



- 池袋駅から西武池袋線所沢駅にて西武新宿線に乗換え航空公園駅下車
- 高田馬場駅から西武新宿線航空公園駅下車
- 航空公園駅東口から徒歩約10分



〒359-8513 埼玉県所沢市並木3丁目2番地
TEL.04-2995-1211(代)